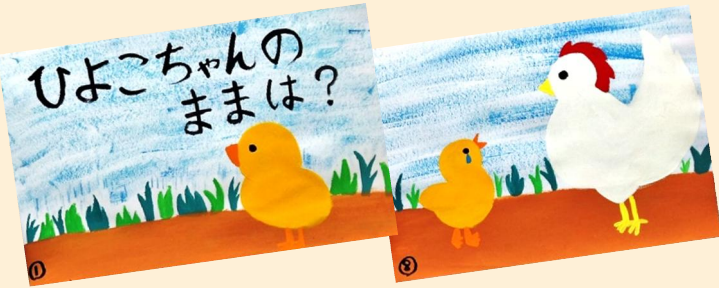


第3回 紙しばいコンテスト

あなたの感性を「紙しばい」
にして表現するコンテスト
に参加されませんか？

【第2回 優秀賞作品】



岐阜城北高校 金森涼華さん



大垣桜高校 神原朱香さん

「紙しばい」に出てきた絵が楽しくて、歓声を上げる幼児を思い浮かべながら作品を創作されることは、あなたの心も豊かにします。みずみずしさいっぱい的高校生・短大生のみなさんの表現力を発揮してもらいたい、そして「紙しばい」を通して子ども達に届けたい。そんな願いのもとにコンテストを企画しています。皆さんの感性あふれる作品のご応募をお待ちしています！！

応募資格

高校生・短大生

募集期間

平成29年8月1日(火)～
9月7日(木)必着

出品料

無料(出品にあたっての送料は応募者負担)

審査

《第1次》
平成29年9月下旬
応募された作品から審査委員会で8点選出

《第2次》
平成29年10月上旬
保育園又は幼稚園における読み聞かせ等を行った上で、
審査委員会及び大学関係者にて最終選考

《賞》大賞1点、優秀賞2点、入賞3点、他特別賞など

表彰式

平成29年11月11日(土) 岐阜女子大学にて。
※表彰式当日は大学祭です。大学生による読み聞かせで、来場者に披露します。

作品要件

- ①就学前(6歳以下)の子どもを対象としたオリジナルの未発表作品であること
- ②題材・テーマは自由。1作品5分以内で演示できるもの
- ③用紙サイズは縦約27cm×横約39cm程度。実演可能な厚手の用紙(白ボール紙・厚紙)推奨。枚数は8～12枚。
- ④大型・立体(仕掛け)・CG作品は不可。貼り絵は可(はがれないようにしっかり糊付けする) ※色鉛筆、ボールペンなどの画材の使用はご遠慮ください
- ⑤紙芝居の1枚目を表紙とし、表紙には絵の他にタイトルと作者名(ペンネーム可)を入れる 作者名は「文 △△△、絵 △△△」と書く。脚本は一場面ごとに一枚ずつ遅れて裏に書く ただし縦書きにする。絵と文それぞれに通し番号を振る(裏面参照)
- ⑥応募点数に制限は設けませんが、入賞については一人1点とする

権利関係

- ①入賞作品は、岐阜女子大学「森のえほん館」所蔵とし、岐阜女子大学に帰属する
- ②主催者は、作品の送付中に被った紛失、破損等に対して一切の責任を負わない。

二次利用

- ①大賞・優秀賞の作品については、本学「森のえほん館」で展示し、広く一般に公開する また、本学ホームページに紙芝居の一部を掲載することがある

応募方法

- ①作品が破損しないような梱包材に提出物を入れ、右宛先に郵送してください
- ②作品の返却を希望される方は、必要事項を記載した着払い伝票を同封してください。着払い伝票が同封されてない場合は、作品の返却は致しません。ただし、大賞・優秀賞については 着払い伝票同封であっても返却しませんので、コピー等お取りいただきご応募ください。
- ③応募する際には、裏面の作品票に必要事項を記入し、作品に添付して下さい(裏面参照)



保育園での読み聞かせ



大学祭での読み聞かせ

<主催・お問い合わせ>

岐阜女子大学 初等教育学専攻

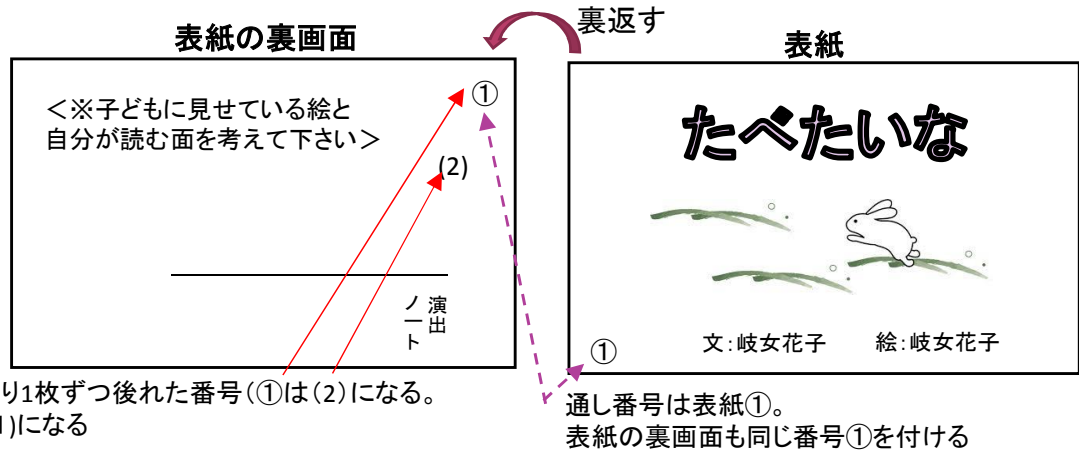
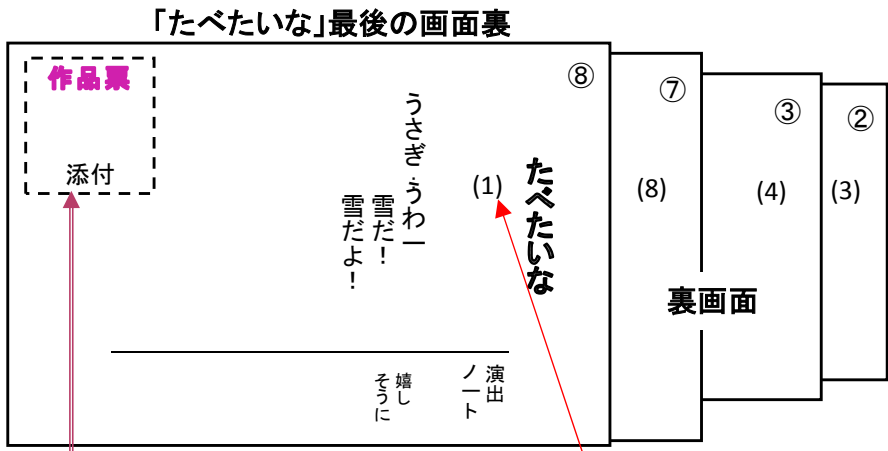
〒501-2592 岐阜市太郎丸80番地

TEL 058-229-2211 FAX 058-229-2222

E-mail: shoto@gijodai.ac.jp http://www.gijodai.ac.jp

後援: 岐阜県教育委員会

8枚の紙芝居「たべたいな」の例



話の番号は、通し番号より1枚ずつ後れた番号(①は(2)になる)。ただし、最後の画面裏は(1)になる

通し番号は表紙①。表紙の裏画面も同じ番号①を付ける

※紙芝居舞台を使用する為、紙芝居画面の周囲1cm程度絵や字が隠れます。ご注意ください。

作 品 票	
項 目	内 容
(フリガナ) 氏 名	
高等学校名 学年	高等学校 年
連絡先 (TEL)	自宅: 高校:
住 所 (連絡先)	〒 -
メールアドレス(任意)	
作品タイトル	
作 者 名	文: 絵:
作品テーマ	

※左の作品票(上)を点線で切り取り、作成した紙芝居の最後の画面裏(左上)に糊付けして下さい。

紙芝居の作り方の基本

- ・テーマを決める
- ・登場人物を考える
- ・登場人物の会話を中心に、演じやすいストーリーを考える ※参考にして下さい
- ・ストーリーの展開を絵に書き起こす
- ・上下左右いろいろな方向から見たところや、遠景(ロング)、近景(アップ)など、構図も考える
- ・画面に文字や漫画の記号(汗やびっくりマークなど)は描かずに、抜くことや台詞など、演技で表現できるようにする
- ・できあがったコマ絵から流れを検討する
- ・コマ絵をもとに小さなサイズの試作品を作る
- ・大きなサイズの画用紙などに本書きする

・紙芝居の大きな特徴は、大勢に見せることが前提。遠くからでも分かるように、はっきりした色や輪郭を描く。ただし、サインペンやマジックペンでは、線に表情が出にくくなるので、横に抜いていく動きをあらかじめ計算して、登場人物の配置などを工夫する。紙芝居は右から左に抜くので、次に登場させたい人物は画面の右に描くとよい。

・一画面に多くのことを書きすぎない。絵も細かいところは描かずに、大胆に描く。できるだけ画面をすっきりさせて、強調したいことを描く。

子どもたちは、ワクワクするような絵の変化や、一緒に参加できるような展開を喜びます！

※得られた情報は本コンテスト並びに本学からの案内に使用し、それ以外には使用しません。